授業科目名・形態	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	非常勤A	実務経験の有無	有	開講期	3年前期
科目ナンバリング	W4-3018p				

【授業の主題】

ソーシャルワークの基本事項（構成要素、展開過程および基本的視点）を確認し、それを踏まえて、ソーシャルワーク実践に必要な援助関係の形成技法や面接技術を学ぶ。これらの基本的な技法・技術に加えて、グループワーク（集団援助技術）、ケアマネジメント、そして、家族支援等の支援についても理解を深める。

【到達目標】

以下の項目について、実践的に理解することができる。

1．精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの概要及び過程
2．精神保健福祉分野における家族支援の実際
3．個別支援からソーシャルアクションへの展開

【授業計画・内容】

第 1 回　オリエンテーション・授業の進め方の説明
第 2 回　ソーシャルワークの構成要素：ソーシャルワークにおける原則、知、実践等（1）
第 3 回　ソーシャルワークの構成要素：ソーシャルワークにおける原則、知、実践等（2）
第 4 回　ソーシャルワークの展開過程：ケース発見からアフターケアまで
第 5 回　精神保健福祉分野のソーシャルワークの基本視点：人と環境の相互作用を中心に（1）
第 6 回　精神保健福祉分野のソーシャルワークの基本視点：人と環境の相互作用を中心に（2）
第 7 回　ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの展開
第 8 回　援助関係の形成技法：バイスティックの 7 原則を中心に
第 9 回　精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの展開技法：インテーク、アセスメントおよびアウトリーチ
第 10 回　面接技術とその応用
第 11 回　グループワーク（集団援助技術）：グループワークの歴史、概念、意義そして方法
第 12 回　支援の展開（ケアマネジメント）：ストレングスモデルに基づくケアマネジメント
第 13 回　精神障害者家族の課題：そのニーズと支援
第 14 回　家族理解の変遷：家族病因論からアルコール依存症の家族研究まで
第 15 回　家族支援の方法

【授業実施方法】

講義形式で行う。レジュメを配布し、パワーポイントを用い、授業展開する。また、適宜、新聞記事や映像資料等を適宜使用し、双方向性授業を図る。

【事前・事後学習】

教科書、レジュメ、ワークシート、試験対策等を含め、毎回 2 時間の予習及び 2 時間の復習を行うこと。

【主な関連する科目】

精神保健福祉の原理Ⅰ、ソーシャルワークの理論と方法、精神保健福祉制度論、精神障害リハビリテーション論

【教科書等】

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編：最新・精神保健福祉士養成講座 6　『ソーシャルワークの理論と方法』」［精神専門］中央法規　2021

【参考文献】

特になし。テキスト以外で必要なものは授業で紹介する。

【成績評価方法】

成績評価は試験または期末レポート（90%）、課題提出や授業への取り組み姿勢（10%）で総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

精神科病院で医療ソーシャルワーカーとして働いてきた経験を生かし、現実に即した支援方法について、実例を交えながら伝えていきたい。

【学生へのメッセージ】

履修学生は予習と復習を行うことで科目の理解度を深めること。なお、ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰとソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱの科目は同じテキストを使用する。